



企画展

焼畑

佐々木高明の
見た五木村、
そして世界へ

Thematic Exhibition
Slash-and-Burn Cultivation
Viewed by SASAKI Komei:
From Itsuki Mura to the World

2022.3.10[木]—6.7[火]

国立民族学博物館 本館企画展示場

◎主催＝国立民族学博物館、五木村

◎協力＝人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究」(国立民族学博物館拠点)、公益財団法人千里文化財団

◎後援＝熊本県 ◎開館時間＝10:00～17:00(入館は16:30まで)

◎休館日＝水曜日(ただし、5月4日(水・祝)は開館) ◎観覧料＝一般580円、大学生250円、高校生以下無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

山の木を伐り、それに火をつけて燃す焼畑の作業は、山の自然への人間の挑戦のようにみえるが、その「心」は決してそうではない。むしろ、山の神の許しを得て、それと調和して自然をうまく利用するという点に、「焼畑の心」の本質があったとみるべきであろう。

佐々木高明「日本文化の多重構造」(一九九七)より

自然条件に逆らうことなく、

上：焼畑の火入れ(宮崎県椎葉村、撮影：山本紀夫、撮影年：1977年) 下：焼畑地における火入れの様子(タイ、撮影：中井信介、撮影年：2006年)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology



焼畑は人類の歴史とともに長い伝統を持ち、現在でも熱帯地域では欠かせない生業基盤のひとつになっている。しかし東南アジアなどでは森林破壊の原因のひとつと見られ負のイメージが強い。

一方で焼畑は、アワ、ヒエ、バナナ、サトイモ、アズキ、ソバ、カブなどが栽培されて、収穫後は畑地を森にもどす再生型の農耕であり、その間には狩猟や採集がおこなわれる。このため今日の日本では自然に優しい持続型農法として注目されている。

本展では、佐々木高明が熊本県五木村で撮影した焼畑の写真や現地で使用されてきた道具をはじめとして、日本や世界の焼畑がどの地域でどのような環境のもとおこなわれてきたのか、各地域の焼畑の特徴はなにかを紹介する。また、五木村を中心とした世界各地の焼畑をとおして、人間と自然との共生のありかたについて考えてみる。

関連イベント

イベントに関する詳細はホームページをご覧ください。

■みんなくゼミナール

「焼畑は環境破壊か——佐々木高明の研究とその後」

3月19日(土) 13:30-15:00 要事前申込／参加無料

場所:みんなくインテリジェントホール(講堂)

講師:佐藤廉也(大阪大学 教授)、

米家泰作(京都大学 教授)、池谷和信(本館 教授)

■みんなくウィークエンド・サロン——研究者と話そう | 各日 14:30-

「日本の焼畑」

3月27日(日) 先着順・申込不要／要展示観覧券

場所:本館第5セミナー室 話者:池谷和信

「台湾原住民族と焼畑農耕」

4月3日(日) 先着順・申込不要／要展示観覧券

場所:本館第5セミナー室 話者:野林厚志(本館 教授)

■みんなく映画会

「日本の焼畑を考える」

上映作品「椿山——焼畑に生きる」

4月30日(土) 13:00-16:00 要事前申込／要展示観覧券

場所:みんなくインテリジェントホール(講堂)

討論:野本寛一(近畿大学 名誉教授)、

川野和昭(元鹿児島県歴史・美術センター黎明館 学芸課長)、池谷和信

■友の会講演会

「佐々木高明を語る——研究とその人物像」

5月7日(土) 13:30-15:00

要事前申込／友の会会員無料、一般500円

場所:本館第5セミナー室

講師:ヨゼフ・クライナー(ボン大学 名誉教授)、

宇野文男(元福井大学 教授)、池谷和信

佐々木高明 SASAKI Komei

1929-2013年。民族学者、地理学者。国立民族学博物館第二代館長。文学博士。日本や世界の焼畑研究の第一人者。主な著作は、『稲作以前』『日本の焼畑』『照葉樹林文化の道』『日本文化の多様性』など。1958-60年の五木村での調査を出発点として世界的に焼畑研究を展開した。紫綬褒章、今和次郎賞、南方熊楠賞などを受章(賞)している。



1 キヤロシ(枝打ち)の際に木から木に渡る住民 五木村 撮影 佐々木高明 撮影年一九九〇年

2 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

3 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

4 アワヤマの火入れ(鹿児島県トカラ列島) 撮影 川野和昭 撮影年二〇〇〇年

5 焼畑で陸稲(オカホ)を収穫するモン族の女性(タイ) 撮影 中井信介 撮影年二〇〇六年

6 アマソンの焼畑地での除草の様子(ペルー) 撮影 池谷和信 撮影年二〇〇二年

7 村の中心部(五木村) 撮影 池谷和信 撮影年二〇〇二年

8 アマソンの焼畑地での除草の様子(ペルー) 撮影 池谷和信 撮影年二〇〇二年

9 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

10 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

11 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

12 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

13 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

14 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

15 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

16 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

17 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

18 焼畑の農法を受け継ぐ女性(五木村) 撮影 寺嶋悠 撮影年二〇〇二年

【開館時間】10:00~17:00(入館は16:30まで)

【休館日】水曜日(ただし、5月4日(水・祝)は開館)

【観覧料】一般580円／大学生250円／高校生以下 無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

【交通のご案内】

大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車徒歩約15分

バス 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分

乗用車／万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。※高校生以下の方、「国立民族学博物館友の会」会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんなくへ行くことを申し出いただき、通行証をお受け取りください。※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

ご来館のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。事前にホームページでご確認ください。またオンライン予約のご来館にご協力ください。



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号

Tel: 06-6876-2151(代) Fax: 06-6875-0401

https://www.minpaku.ac.jp/



関西から

文化力
POWER OF CULTURE